

「高校生との意見交換会」を開催しました (総務財務委員会)

本市議会では、「市民の多様な意見を把握する」という議会基本条例の規定をふまえ、若い世代の意見を政策に反映することを目的に、高校生との意見交換会を開催しています。

今回は、令和5年7月29日、総務財務委員会の主催で、三原東高等学校、如水館高等学校、総合技術高等学校の3校の皆さんに、本市における課題及びその解決策をプレゼンテーション方式で行い、高校生と議員で意見交換を行いました。

【三原東高等学校】

本市の公園の環境改善と活用の提案がありました。

現状、トイレが古くなっている、柵が無いところからボールなどが飛び出す危険性があるなど、綺麗に管理されていない公園があるとの指摘の後、地域のボランティア活動などで様々な担い手に協力いただきながら、公園を綺麗にし、イベント等が開催できるようにするべきとの提案がありました。

安心・安全に楽しめる公園をつくることで、たくさん子どもが楽しめることになるとまとめられました。



【如水館高等学校】



如水館高校の学生さんがおかれているバス通学の現状から、バスの増便および料金改善の提案がありました。バスの運賃については、70歳以上は割引があるが、学生に対する割引がなく、若い世代への投資として、バスの増便と割引の施策を考えて欲しいとの提案がありました。

また、この取組をはじめとして、若い世代への投資は、少子化の改善になるとの意見も出されました。

【総合技術高等学校】

有害鳥獣対策として、イノシシの有効活用の提案がありました。既に取り組んでいる具体的なアクションとして、ジビエの研究、有害鳥獣対策の箱罠の制作についての取組が紹介され、本市としてイノシシの有効活用に積極的に取り組むべきだとの提案がありました。

また、学校設定科目「産業政策」の取組の授業が紹介され、解決の難しい問題については、みんなで一緒になって考え、解決につなげる良案を導き出していく実践に取り組んでいるとの報告がありました。



高校生の皆さんからの提案は、今後、議会の政策提案において活かしていくとともに、若い世代との意見交換の機会を大切にしていきたいと思っております。